



Career
Design
Support
Magazine

R STYLE

キャリアデザイン応援マガジン
麗澤瑞浪中学・高等学校 アール・スタイル

2017
SPRING

Vol.3



自分で描く未来

祖母からの教え 「迷ったら難しい道を 選びなさい」

中西美奈実

1995年生まれ。三重県伊勢市出身。麗澤瑞浪中学・高等学校卒業。平成26年横浜国立大学経営学部会計情報学科に進学。在学中は、副級長や女子寮の寮長など、学校のリーダーとしても活躍。



大学受験のお話

京都大学を目指して

私は、前期試験は京都大学に出願しました。センター試験では少し失敗してしまったのですが、二次試験で実力を出せば合格できると言われていました。でも、心の中では「逃げたい」という気持ちで一杯になりました。大阪大学とかなら判定も良かったので。でも、逃げずにはがんばろうと決意したきっかけは、大阪大学とか神戸大学の過去問を解いているとき、簡単だなと思ってしまったことです。これなら解けるって。今まで京大に行きたいってがんばってきたのに、それを避けて違う大学に合格しても嬉しくないかなって思ってたんです。だったら挑戦しようと思えました。

私が京大を目指すようになったのは、中学三年生の頃に担任の先生から京大の受験を薦められたからです。素直にその気になって、勉強のモードも切り替わりました。それまでは、ただ何となく楽しかったり、勉強のモードも切り替わりたくなかったり、ライバルに負けを意図してからは外の世界を意識するようになって、もつとがんばらないといけないなと思えました。

結果は不合格

落ちたときは、さすがに落ち込みました。手応えとしては、数学はできた自信がありました。成績開示をしたら合格まで五点足りませんでした。よく周囲の

人からは、なぜ浪人して再チャレンジしなかったのと聞かれます。自分でもよく考えたのですが、その理由は二つあると思います。

一つ目は、自分の意思よりも、みんなにがんばれとか、すごいと言われるのが嬉しくてがんばってきた自分に気がついてしまったこと。落ちたとき、自分も辛かったんですけど、それ以上に人に顔向けできない、申し訳ないという気持ちが強かったんです。二つ目は、受験勉強は、自分の中では結構極限までやっていたので、やり切ったという感覚になったことです。自分が進んだ大学で、違うことでがんばろう、そして、それでもどうしても京大に行きたくなったら大学院で行けばいいという気持ちになったからです。

実際に大学に通っている今では、大学は関係ないなと思っています。大学では、がんばっている人もいれば、がんばっていない人もいます。どのような場所でも、自分を保ってがんばっていれば関係ないなと思えたからです。

先生と仲間に恵まれて

私は、先生にたくさん質問する生徒でした。私に付き合う先生は、本当に大変だったと思います。それでも嫌な顔一つせずに付き合ってくれた先生方には、本当に感謝しています。後期試験の前には、複数の先生から励ましの手紙をもらいました。中には、がんばってとお菓子の差し入れや、帰りの電車で読みなさいと本



大好きな家族と(本人前列左から2番目)

くれる祖父の存在も、私のモチベーションを高めてくれました。近所の集まりで私のことを自慢していたと聞いたときはとても嬉しくて、もっとがんばろうと思いました。

勉強は決して強制的にさせられているということはなかったのですが、勉強する習慣は寮生活を始めた中一の頃から身につけています。中学生になった今でも体に染みこむような感覚で楽しんでやっています。今では歯磨きをするように勉強するという感じですかね。

毎日少しでもやらないとちょっと気持ち悪いです。

好奇心を育てる自由研究

私は、好奇心旺盛な性格です。このようになったのには、夏休みの自由研究が影響していると思います。自由研究は中西家の大イベントで、お父さんと二人で真剣に取り組みました。いろんな実験、研究をしたり、実際にいろんな場所に出かけるうちに、さまざまなことに興味を持つようになりました。

例えば、単純に物の浮き沈みの実験から、カエルをいっぱい捕まえてきて、どういう時に色が変わるのかを調べたり、化石を掘って出てきたものを研究したり、ラジオを聴きながら天気図を描き、どういふふうに変化していくかを追いかけてきた。ただ、研究を繰り返すのではなく、父からのこういうプロセスでやらせろという指示に基づいて、修正してもらいながら進めていき、研究を完成させました。とにかく、楽しかったです。今振り返ってみると、父が私の知的好奇心をくすぐるように、ちょうどいい課題を与えてくれていたのだと思います。

寮生活で学んだこと

就職活動をしていてどこの会社でも聞かれる質問として「学生時代一番大変だったことは何ですか」というものがあります。学生時代を振り返ると、やはり寮生活が一番大変だったように思います。中学三年と高校三年でそれぞれ一年ずつ寮役員を経験しましたが、この貴重な経験こそが今の私を形作っていると言っ



同じ寮の仲間と先生のお宅訪問

ても過言ではありません。自分がやりたいうようにやるのは簡単ですが、寮役員となるとそうはいきません。勉強をしたい、部活をしたい、遊びたい。それぞれの欲求がある中で、みんなを良い方向に導けるよう、リーダーとしての役割も果たさなければなりません。特に私は全部をうまく回したいと思うタイプなので、人に嫌われたくない、かつ自分のやりたいこともやりたい。わがままな話ですが、それをすべて達成するためにはどうしたらよいか、とことん悩みました。あるとき友達に、「すべてを一気に完璧に片付けることなんて、できるわけがないんだから、まずはやれることから始めよう」というアドバイスをくれました。自分で優先位を決めて、一個ずつ問題を解決していくことで、何もやらずに悩んでいた時と比べ、少しずつ前に進めるようになった。

りました。

私は悩むと人に相談します。しかも、一人ではなく複数の人に同じ悩みを相談します。友達、家族、先生たち(担任、隣のクラスの担任、寮担当教員、仲の良い教科担当など)が相手です。そうやっていろんな相談相手から得られるアドバイスや違った価値観はとて新鮮でした。もちろん一人ひとり意見が違うので、いろんな考えが出てきてしまい、自分の考えがブレてしまうこともありましたが、自分なりに結論を出して前に進むことが心がけています。

後輩たちへメッセージ

伝えたいことは、自信を持つってほしいということです。悩むことも多いと思いますが、悩んでいるということは、自分ががんばっている証拠だと思います。受験期は必要以上に他のことが気になったりすると思いますが、自分は自分です。自信だけは本当に持つてほしいです。

悩むのも悪くないと思うので、とことん悩んでもいいと思います。焦ると悩んでいる自分に嫌になっちゃいます。もうことあると思いますが、振り返ると私はこの悩む時間がすごく大事だったと思っています。真剣に悩むことも必要ですし、悩んでも友達、家族、先生たちがいるからきつと大丈夫です。

理学療法士は、 笑顔で寄り添う仕事 高校時代の経験が宝

大矢敏久

1986年生まれ。愛知県知多郡美浜町出身。麗澤瑞浪高等学校卒業。在学中は、副寮長や文化祭実行委員長などリーダーとしても活躍。名古屋大学医学部保健学科、理学療法学専攻卒業、名古屋大学大学院医学系研究科リハビリテーション療法学専攻修了。現在は、愛知県碧南市にある小林記念病院リハビリテーション科勤務。



理学療法士を目指すようになったのは

私が最初に興味を持った職業は介護士でした。昔から祖父母と同居していて、おばあちゃん子だった私は、自然と介護の仕事をしてみたいと思うようになっていました。中学二年生の時に、職業調べ学習の時間がありました。介護士や医師、看護師は以前から知っていましたが、理学療法士はこの時初めて知りました。そして、リハビリテーションで健康について考え、人をサポートする仕事に魅力を感じ、そこからずっと理学療法士になりたいという夢を持ち続けました。

理学療法士の仕事

怪我や高齢が原因で、生活動作が困難になった方をサポートし、主にリハビリテーションを通して、患者さんを日常生活

活にお返しすることが私の仕事です。最近では職域も広がってきていますので、介護の予防に理学療法士の専門性を活かしたり、スポーツトレーナーの中に理学療法士の方がいらっしやったりします。ただ、基本的には病気や怪我の人の運動機能の向上、歩行を含め日常生活の機能を向上させて、自立した生活ができるように支援するのが主な仕事です。そのため、普段は病院内の施設で、医師や看護師、作業療法士や言語聴覚士の方と一緒に、一人ひとりに合ったリハビリの形を考えながら、患者さんのサポートをさせていただいています。

また、訪問リハビリテーションという形もあり、この場合は患者さんがお家で自立した生活ができるようにお手伝いをします。寝たきりの方であれば、呼吸を整えたり、体の循環を良くするなどしています。トイレに歩いて行けない方がい



理学療法士として働く大矢さん



さまざまな器具がならぶ職場

れば、運動機能を知っている理学療法士の専門的視点から、手すりの配置やベッドの位置をアドバイスします。

理学療法士と作業療法士の違い

理学療法と作業療法の違いは、実際の現場では境界は不明瞭になりやすいですが、大学で学ぶ内容、必要とされる専門知識にも違いがあります。一般的に理学療法士は、機能回復のためのリハビリを行います。寝ている人の起き上がり、車いすの乗り降り、椅子から立つ・椅子に座る、歩行など、基本動作の回復・維持をサポートします。作業療法士は、社会適応に向けた心と身体のリハビリを行います。食事を摂る、歯を磨く、着替え、トイレなどの応用動作の回復をサポート

します。ただ実際には、理学療法士が入浴のお手伝いをすることもあり、作業療法士が起き上がらせるお手伝いをすることもありです。

また、作業療法士は心のケアもしながらリハビリをすると言われるますが、理学療法士も心のケアは常に考えながら仕事をしています。患者さんの症状はそれぞれですが、認知症の方も含めて、笑顔で接し、寄り添う姿勢を常に持つことで、前向きにリハビリに取り組んでもらっています。

理学療法士になるための勉強

私の場合、大学に入ってから最初の勉強が身体の構造だったので、高校の学びと一番繋がると感じたのは「生物」でした。私自身は、理系で物理・化学を選択、生物は履修していなかったのですが、最初は少し苦労しました。これは作業療法士も同じだと思います。大学によっては理系科目で受験しなくても入れる所もあります。どんな場合であっても、基本的には入学後にしっかりと勉強していけば大丈夫です。これは、短大や専門学校の場合でも同じです。

理学療法士を目指す場合、進学先を大学のネームバリューで選ぶメリットは少ないと思います。理学療法について細かく調べて、大学のホームページ等で在籍している教員の専門分野と、自分の関心分野が合っているかを確認してみると良いと思います。そうすれば、大学での勉強がより有意義になると思います。

実際の現場で感じる日々

現在、理学療法士の数は多いと感じます。一方で、現場のリハビリテーションには、有資格の医療従事者として、理学療法士、作業療法士、言語聴覚士がいるのですが、圧倒的に言語聴覚士が足りていません。そもそも、言語聴覚士は国立大学に資格を取れる所が一つもありませんので、それが大きな原因だと思います。私が勤務している病院では、この三つの資格で勤務形態や報酬に違いは全くありません。言語聴覚士は資格を取ることができない場所が少ないという点で、現場のニーズと大きくかけ離れているのが今後の課題だと感じています。また、男性看護師も近年では増えてきていますが、まだまだ少ないのが現状です。

そして、医療に携わる全ての職種で共通して言えることが、「体力的・精神的に強いことが必要」ということです。実際に自分が体調を崩しているのは患者さんのサポートはできませんから。また、日々、悩みが尽きることもありません。例えば、入

院患者さんがご自宅に帰りたいと希望されているとします。今の状況でお返しする、介護も必要でご家族が大変な状況になるのが分かっている。こういった患者さんをどのようにサポートしていったら良いか、どういった治療を進めたら一日でも早くご帰宅できるかなどを常に考え、日々葛藤しています。お年寄りの治療に当たっている場合、思うように機能が改善しないことの方が多く、現実です。私の周りでも、抱いていたイメージと実際の仕事とのギャップが大きく、転職した人もいました。自分が思ったように患者さんが良くなっていけば全く問題ないですが、そうでなくても自分から笑顔で接し、共に寄り添っていく姿勢がなければ、こういった職業は続けていけないのではないかと思います。



HAL（動作支援ロボット）を利用した歩行訓練の様子



高校時代の矢野さん（後列左から2番目）

高校での寮生活・部活動が 役立っている

理学療法士になって感じていることですが、高校での寮生活やサッカー部での経験が、大いに役立っています。

私は愛知県知多郡の出身です。同級生の数も少なく、中学までは気の知れた仲間との生活でした。しゃべらなくても相手が何を考えているか分かるのが当たり前でした。しかし、高校に入ると、全国から来ているさまざまな価値観を持った友達ができるようになりました。必然的にコミュニケーション力はつきまじりましたし、そういった友達とただ話すだけでも自分にとってはとても刺激的な面が多かったです。今

の仕事では、さまざまな症状を持った患者さんと接しますが、先入観を持つことなく、どんな価値観の方ともうまく接することができています。

また、サッカー部での経験も大きいと思います。リハビリ自体は大変つらいものになることも多いです。自分自身が部活動などを通して、とても辛いトレーニングなどの経験をしていることで、患者さんの気持ちを理解し、どういう声をかけるのがいいかなど、今に活かしているなと感じます。

中学・高校生へメッセージ

一番思うのは、受験勉強はゴールではないということ。私は、今でも勉強しています。新しい知識・治療の方法などは、日々進歩しているので学び続けないと、どんどん遅れていってしまいます。臨床と研究は切り離せないもので、自ら研究もしますし、学会などへも足を運び学んでいます。

また、勉強の仕方も変化します。答えが与えられるわけではなく、自ら問題を見つけて、それを解決するための道筋も自分で考えます。答えが決まっていることなどほとんどありません。理論的に確からしいことを出すことの繰り返しなのです。これが受験勉強とは違うところ。中学・高校の段階から意識しておいてほしいです。

高校生からの質問に答えてもらいました

Q 理学療法士を目指す中高生がやっておくべきことは？

A イベントがあれば、実際に足を運んで体験してみることが大切です。私の病院では、近隣の中学・高校生が職場体験にやってきますが、その多くは看護師の体験です。理学療法士などが所属するリハビリテーション科で見学だけでもした方がいいです。

Q 仕事のやりがいとは？

A 患者さんが無事に退院できたときは、嬉しいですね。求めてはいけません。患者さんから感謝されることも喜びです。

Q 仕事をしていた悩んだことは？

A 私たちの仕事は、高齢の患者さんを相手にすることが多いです。若い方と違い、良くならないことが多いので、どうすれば良くなるのか、日々悩んでいます。また、70歳、80歳の方にどのようにして意欲的にリハビリに取り組んでもらうかも悩みの種です。

Q 仕事で気をつけていることは？

A 陥りがちなのは、自分が良かれ

とやってやっていると、患者さんにとっては不快なこともありまます。ギャップが出ないように気をつけています。こちら側のエゴでやり過ぎないようにしています。

Q 仕事をする上で求められる力は？

A 体力的にも精神的にも楽な仕事ではありません。まずは、自分自身が健康であることが大切です。その上で、常に笑顔で患者さんに寄り添うことができること。認知症の患者さんの治療には、笑顔で接することは欠かせません。

Q 勤務シフトは？

A これは病院の形態によって大きく変わるところです。私の勤務している病院は、リハビリの専門病院です。リハビリは、休みを作らない方がいいので、患者さんが毎日リハビリできるようにしています。したがって、休みは不定休となります。またリハビリは、患者さんの生活時間帯に合わせて行うことが理想なので、朝早いシフト、夜遅いシフトに分担していますが夜勤はありません。

私の大学合格への パスポート 「徹底した スケジュール管理！」

加藤 里菜

1998年生まれ。岐阜県瑞浪市出身。麗澤瑞浪
中学・高等学校卒業。

平成29年名古屋市立大学薬学部生命薬科学科
に進学。高校時代は、文化委員長などリーダー
としても活躍。



名古屋市立大学を 目指すきっかけ

まず、意識していたのは「国公立に行く」ということ。中学生の頃から高校進学時には選抜クラス（現在の特進コース）に入りたい！選抜クラスは国公立に行く集団だ！というように自己暗示をかけていました。両親からは、国公立を目指してほしいと言われていたので、勝手にそのビジョンが作られていったのだと思います。具体的に、名古屋市立大学を目指すようになったのは、中学生の頃です。幼少期に身体の弱かった私は、喘息の治療薬として「ホクナリンテープ」を処方してもらっていました。当時の私は、テープを貼るだけで息苦しさを改善することができるということに、とても驚きました。こうした経験がきっかけで、製薬会社に勤めて新薬を開発したいという夢を持つようになりました。同時に進路についても、地元から近い薬学部のある国公立は名古屋市立大学だということが分かったので、志望校に設定して合格を目指す決意をしました。

私の武器 スケジュール管理

受験を乗り切るための武器となったのは「継続力」と「徹底」です。自分で勉強する力をつけるために「一週間でやり切るスケジュール表」を作成し、そのスケジュールにそって勉強に励んできました。きっかけは高校一年生の時の学年集

会で、選抜クラスの担任の先生から、「自分でスケジュールを立てること、それにそって勉強していくことが大切なんだ」という話を聞いて、すぐに取り組み始めました。最初の頃はスケジュールを立てても内容を詰め込みすぎてしまい、全く予定通りに進みませんでした。逆に自分を追い込みすぎてしまい、勉強へのモチベーションが下がってしまったり、全くうまくいきませんでした。そんな時、受験を終えた卒業生の先輩からお話を聞く機会がありました。そして、「スケジュールは一週間単位で作るといい」というアドバイスをもらいました。その話を聞いてからは、あまりすぎて終わらなかつた内容も、次の一週間（消化週間）で終わらせるように工夫し、うまくいかない週があつたとしても、継続することを大切にしてコツコツと取り組んでいきました。そのうちに計画の立て方も自分の中で加減がつかめてきて、無理のない計画を立てられるようになりました。そして、苦手を克服しながら、しっかりと勉強の日々を送ることができました。

高校三年生の頃には完全に習慣化し、毎週日曜日の夜に一週間分のスケジュールを立てていました。月曜日からそのスケジュール通りに取り組んでいく、予備日なんかも作ってなんとかやり切ることでできていました。最初はスケジュールを立てることが趣旨になっていた時期もありましたが、継続することで苦手なところを書き出し、それを克服するためのスケジュール表へと進化していきまし

た。この徹底した管理が、私の受験勉強では武器となり柱となったと思っています。

勉強へのモチベーション プレミアム講座

私が麗澤瑞浪中学校を受験しようと思った最初のきっかけは、母の職場の同僚から、受験を勧められたからです。その後、学校見学会や夏に行われる二泊三日の体験入学に参加しました。先生と生徒の挨拶がしっかりしていることや広大な施設や立派な設備にすごく驚いたことを覚えています。そして「私は麗澤瑞浪に行きたい」と両親に伝えました。入学してからの成績は学年順位も80人中で20位前後。万遍なく勉強に励んでいました。中々上位には入れませんでした。

中学二年生になると、放課後に「プレミアム講座」が行われます。プレミアム講座は、各教科の成績上位者しか受けることができない特別な講座なので、私はメンバーに入ることができませんでした。毎週水曜日の七・八限、プレミアム講座のメンバー以外は教室で自習をしていました。プレミアム講座から戻ってくる同級生の顔が、とても楽しそうです。やましいと思いい、私も絶対メンバーに入って受けたらという感情が湧いてきたのです。この思いが勉強へのモチベーションにつながり、私は念願のプレミアム講座のメンバーに入ることができました。プレミアム講座の中には、名古屋大

大学の教授と直接お話をして交流する機会がありました。講義内容は私の知らないことばかりでしたが、詳しく教えていただき理系科目にさらに興味を持つことができたと思っています。このプレミアム講座の存在もあり、私は中学卒業時には学年順位を三番まで上げることができました。

勉強をがんばり抜くアイデア

高校生になると、目標であった選抜クラスに入ることができました。進路へ向かって勉強しながら、高校一・二年生の頃は、部活動にも一生懸命取り組んでいました。私は中学から吹奏楽部に所属し、パーカッションを担当していました。

勉強との両立は大変でしたが、一日にやるノルマを達成したら楽器を演奏するという誓いを立てて頑張り続けることができました。高校一年生のときは、選抜クラスの授業について行くことができていたのですが、高校二年生になるにつれて学習内容も徐々に難しくなり、授業のスピードにもついて行くことが困難になりました。できると思っていた理系の点数も、落ち込んだ時がありました。そんな時でも、進学講座を受けたり、先生方に質問しに行くなど、分らないことをそのままにしない努力をしたことで、高校三年生になって成績が向上していききました。受験に向けた最後の一年はとにかく勉強しました。食堂に行く前にも、20分間は自学センター(図書室)で友達と勉強したり、夏休みでも登校できる日は学

校で勉強、休日には近くの図書館にも通いました。担任の先生から「苦手を優先させてノルマを作る。苦手をつぶさない」と勉強している意味がないよ」と指導していただき、苦手なことから逃げずに勉強と向き合い、最後まで受験勉強をがんばり抜くことができました。



中学から続けた部活動ではパーカッションを担当

受験指導を担当した 担任コメント

加藤さんは、突出した得意科目こそありませんでしたが、高校一年生の頃から努力を重ねた結果、ほぼすべての科目で高い実力を身に付けることができました。自分の能力を生かして、病気やけがなどで苦しい立場にある人たちを救いたいという気持ちがあるはず、その情熱が努力を継続する原動力になりました。

ただ、決して勉強しからない高校生活ではありませんでした。吹奏楽部で活躍し、生徒会でも文化委員長を任せられるなど、自分の楽しみや周りの人たちのために何かをすることに、積極的に行動していました。その結果として豊かな人間性が生まれ、他人と同じ方向に流されるのではなく、自分なりのしっかりした倫理観で物事を判断

し、社会に貢献したいという思いが強くなったのではないのでしょうか。受験を意識した勉強を始めるのは、早ければ早いほど有利です。そして、その気持ちをやるのは何より、加藤さんのような「社会が発展するための役割を担いたい」という決意なのでしよう。



担任の長谷先生と

麗澤瑞浪に 学んで

No. 003

水野有博

麗澤瑞浪高等学校卒業。岐阜県多治見市出身。選抜クラス（現特進コース）に所属し勉学に励み、サッカー部のレギュラーとして活躍。勉強と部活動を両立させた3年間。平成29年4月より、長野大学に進学。



私が麗澤瑞浪で学んだことは、感謝の気持ちを持つこと、そしてその気持ちを伝えることの大切さだ。

このことを一番強く感じさせられたのが、高二の一学期のことだった。サッカーの試合で足を骨折してしまった私は、たくさんの人に助けられた。松葉杖をついての生活はとても不自由で大変だったが、友達が荷物を持ってくれたり、階段の昇り降りで付き添ってくれたりした。母は自宅からのとても長い道のりを毎日

送り迎えしてくれた。多くの人に支えられていくことに気づかされた。何とか部活に復帰して迎えた引退試合では、決勝ゴールを決めて勝利した。ゴールを決めた時、それまでのことが思い出されて鳥肌が立った。それは紛れもなく、支えてくれたみんなが決めさせてくれたゴールだった。

おそらくこの頃からだろう、どんなに些細なことでも「ありがとう」と言うようになったのは。特に母に対しては意識して言うようになった。毎朝駅まで車で送ってくれること、店があつて忙しいのに家事を全て欠かさずやってくれて、いつもおいしいご飯を作ってくれていること、学校から帰ってきた私が不機嫌なようすでいると、それにすぐに気がついて、「何かあったの？」と、これでもかというくらいに心配してくれること。何よりも、わがままを言った私を、ここ麗澤瑞浪に入学させてくれたこと。

いつも一番近くで私のことを支えてくれている母には感謝をしてもきれない。私の周りには支えてくれる人が自分の思っている以上にたくさんいる。その人たちがいなければ、今の自分はいない。そう気づかせてくれた麗澤瑞浪に感謝だ。



学校図書館司書おすすめ本コーナー

～入口かんたん！奥が深い！！ イチ押し本の紹介～

小6におすすめ

みんなで作る 1本の辞書

飯田朝子(著) 寄藤文平(イラスト) / 福音館書店



なるほど!

なぜ「1本」と数えるの??
ニンジン、電車、柔道……「1本」と数えるものは、実はとってもたくさんある!「1本」と数えるモノ・コトだけを集めたおもしろ絵本♪

さかなクンの一魚一会 ～まいにち夢中な人生!～

さかなクン / 講談社

お絵かき大好き、魚が大好き、「ギョギョッ!」のさかなクン! やりだしたら、止まらない、好きなことをやっていたら、いつの間にか准教授!!

「さかなクン」になるまでの楽しいおはなし♪



ワクワク♪

ライオンはなぜ、汗をかかないのか?

サイモン・ロジャース / 主婦と生活社



スゴイ!!

「蚊は人の1万倍も鼻がいい」、「赤ちゃんパンダの食べ物はお母さんのうんち」、「ラクダは10分で132ℓの水を飲む」、「カメレオンの舌はスペースシャトルよりも速い」!?
生き物たちのからだは実はかなりすごかった!!

天と地の方程式

富安陽子 / 講談社

いにしえより続く、天ツ神と黄泉ツ神の戦いが再び始まる。

特別な記憶力や数学力、腕力など天ツ神から特別な能力を授けられたこどもたちが集められ戦いに巻き込まれていく——!

はらはら! どきどき! のスピーディーな学園ファンタジー!!



どきどき!

中3におすすめ

寿命図鑑

やまぐちかおり / いろは出版



そうだったの!?

「蚊取り線香は7時間」、「まつ毛は4か月」、「世界一長寿の植物リュウケツジュは7000年」!!

生き物の寿命から、食べ物、建築、天体の寿命まで教えてくれるイラスト図鑑♪

もしもあの動物と暮らしたら!?

小菅正夫 / 新星出版社

パンダ、キリン、ホッキョクグマ、カピバラと暮らす……?

旭山動物園の前園長が飼育の極意を教えます♪ 食事・遊び・お迎えの仕方など、ていねいに解説。想像するだけで楽しくなる、もしものための本!



役立つ、かも!?

化学で「透明人間」になれますか?

佐藤健太郎 / 光文社



へえ~!

「モテル薬はできるのか?」、「『ドラえもん』の道具はつくれるのか?」、「透明人間になれるのか?」。そんな夢物語を化学は実現できるのかをわかりやすく、楽しく解説♪
みんなの夢をかなえる化学は、今こここまでたどりついている!

伝説のエンドーくん

まはら三桃 / 小学館

代々語り継がれる伝説のヒーローは、成績優秀、スポーツ万能、容姿端麗な中学生「エンドーくん」!?! そんな中学生ってホントにいたの?

彼にまつわる落書きが、教師に、生徒に、希望をあたえていく——。



勇気が出る!

麗澤瑞浪中学・高等学校の図書館は、3万冊を超える図書を備え、年間貸出冊数は25,000冊。岐阜県で最も利用されている学校図書館です。司書が旬の本を紹介したり、テーマ別に特集を組んで、「常に新しい空間」を演出しています。

学校・寮見学
随時受付中!
お気軽に
ご連絡ください

わたしたちの出身地は



香川県

岐阜市

土岐市

東京都

瑞浪市

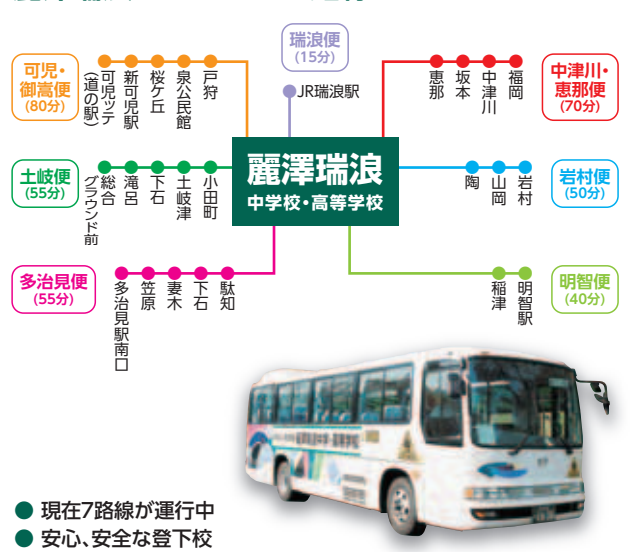
恵那市

麗澤瑞浪中学・高等学校は北海道から沖縄県まで全国から生徒が集う寮のある学校です。帰国子女もたくさん入学しています。

交通のご案内



麗澤瑞浪スクールバス路線図



麗澤瑞浪中学・高等学校

〒509-6102 岐阜県瑞浪市稲津町萩原1661
TEL:0572-66-3111 FAX:0572-66-3100
<http://www.mz.reitaku.jp>

学校法人 廣池学園

□ 麗澤大学 TEL:04-7173-3601
□ 麗澤大学大学院 TEL:04-7173-3633
□ 麗澤中学・高等学校 TEL:04-7173-3700
□ 麗澤幼稚園 TEL:04-7173-3526